

# ～ 産官学連携事業「New KOBE New Self」 ～

## 活動の様子



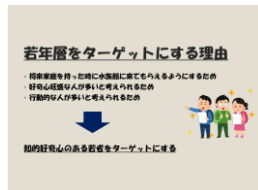
## 取り組む課題

私たちのゼミでは須磨海浜水族園様とのマッチングをして頂き、「ポストコロナの水族館経営」という課題を頂きました。キックオフミーティングの行われた2022年4月時点では、まだ世界的にはコロナによる活動制限が完全には撤廃されておらず、海外からの旅行者なども多くない時期でしたが、これから徐々にそういった制限が緩和されていくであろうことは予測されていました。そのような状況下において、リニューアルを控えた須磨海浜水族園様がより発展していくために必要な方策を考えることが学生達の課題でした。



## 企画・活動概要

この事業ではいくつかの地元企業様と学生側とのマッチングを神戸青年会議所様がを行います。学生はマッチングされた地元企業様からいくつかの経営改善に関するテーマを出されるので、その中から自分たちの興味関心のあるテーマを選び、地元企業様の経営課題克服に向けた提案を行います。4月に神戸青年会議所メンバーに本学にお越し頂き、企画の趣旨説明とマッチング対象企業様と、それぞれの企業様が出されているテーマのご紹介を頂きました。学生達は、7月に企業様に自分たちの意見をプレゼンする機会を与えられます。それまでに企業様の元に実際に足を運び、フィールドワークをさせて頂きました。



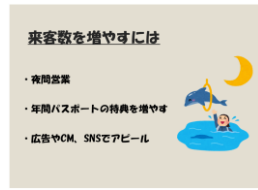
## 本学(学生)の役割

学生たちは、数度にわたり、須磨海浜水族園を見学させて頂き、また水族館の担当者様から直接説明を受ける機会を頂きました。本企画については教員はあくまでサポートに徹し、企画に対するアイデア出しから、実際のプレゼンに至るまでの全ての作業を学生自らが行っていきます。ゼミの時間は、主に水族館の集客をさらに進めるための広告・プロモーション方法について議論する時間が多かったと思います。学生達は、普段自分たちがよく目にするSNSで、どのような写真や動画がバズりやすいか、またインスタ映えするスポットとして有名な水族館などを調べ、それらをプレゼン資料にまとめました。



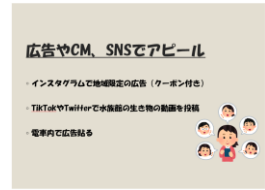
## 経緯・背景・目的

2022年度の神戸青年会議所様の産官学連携事業「New KOBE New Self」にゼミとして参加させて頂くことになりました。この事業は、神戸青年会議所様から社会に出て行く学生に「神戸で働くという魅力」に気付いてもらうきっかけづくりをすることを目的として企画されました。学生にとっても、自分たちの生活圏で活躍されている企業様をよりよく知るための機会を頂くことになるだけでなく、現実の企業様の経営課題という生きたテーマに取り組むことができるという点でも、非常に有意義な企画だったと考えます。



## 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2022年8月3日に、須磨海浜水族園様の会議室にて学生がプレゼンテーションを行いました。残念ながら最終選考に残ることはできませんでしたが、後日、プレゼンに対するコメントとして、「SNS や電車広告の実施などのマーケティングに必要とされるPRを若者らしい目線で捉えており、プレゼンも明るい雰囲気であった」、「ターゲットを若年層に絞り、集客対策を考えて頂き、今の若者の考え方や想いが伝わりました。SNSの事業など若者の考えを実際に聞いて、今後の参考にもさせていただきます。(楽しさ伝わってきました)」といったお言葉を頂きました。



## 指導教員および関係者の紹介

### <指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
秦 洋二(ハタ ヨウジ)

### <関係者・企業等>

神戸青年会議所 青少年育成委員会  
須磨海浜水族園

<専門・担当科目等>  
流通論、マーケティング、経済地理学